旧入谷南小学校跡地
活用方針（案）説明会

ADACHI CITY

令和６年５月３１日
６月　１日

危機管理部　総合防災対策室　災害対策課

本日の内容

1　これまでの経緯について　P1

2　入谷南小跡地に災害拠点施設が必要な理由　P2～P4

3　旧入谷南小跡地活用（案）について　P5～P7

4　今後のスケジュールについて（予定）　P8

1 これまでの経緯について

ADACHI CITY

これまでの経緯ついて

年　　月	内　　容
令和　３年　２月	**基本構想（案）の策定 ▶ 災害対策拠点施設**
３月	**解体工事完了**
令和　４年　４月	事業者ヒアリングの実施
５月	**活用方針（案）の地元説明会【民間活用案】**
【今回】令和　6年　5月～6月	**皆様から頂いたご意見や、本年１月１日の能登地震等の社会情勢を踏まえ、** **新たに検討を加えた活用方針（案）について地元説明**

2 入谷南小跡地に災害拠点施設が必要な理由

ADACHI CITY

災害拠点備蓄倉庫と地域内輸送拠点の課題について

1　災害拠点備蓄倉庫

災害に備えた食糧や資機材等を備蓄している大規模な倉庫

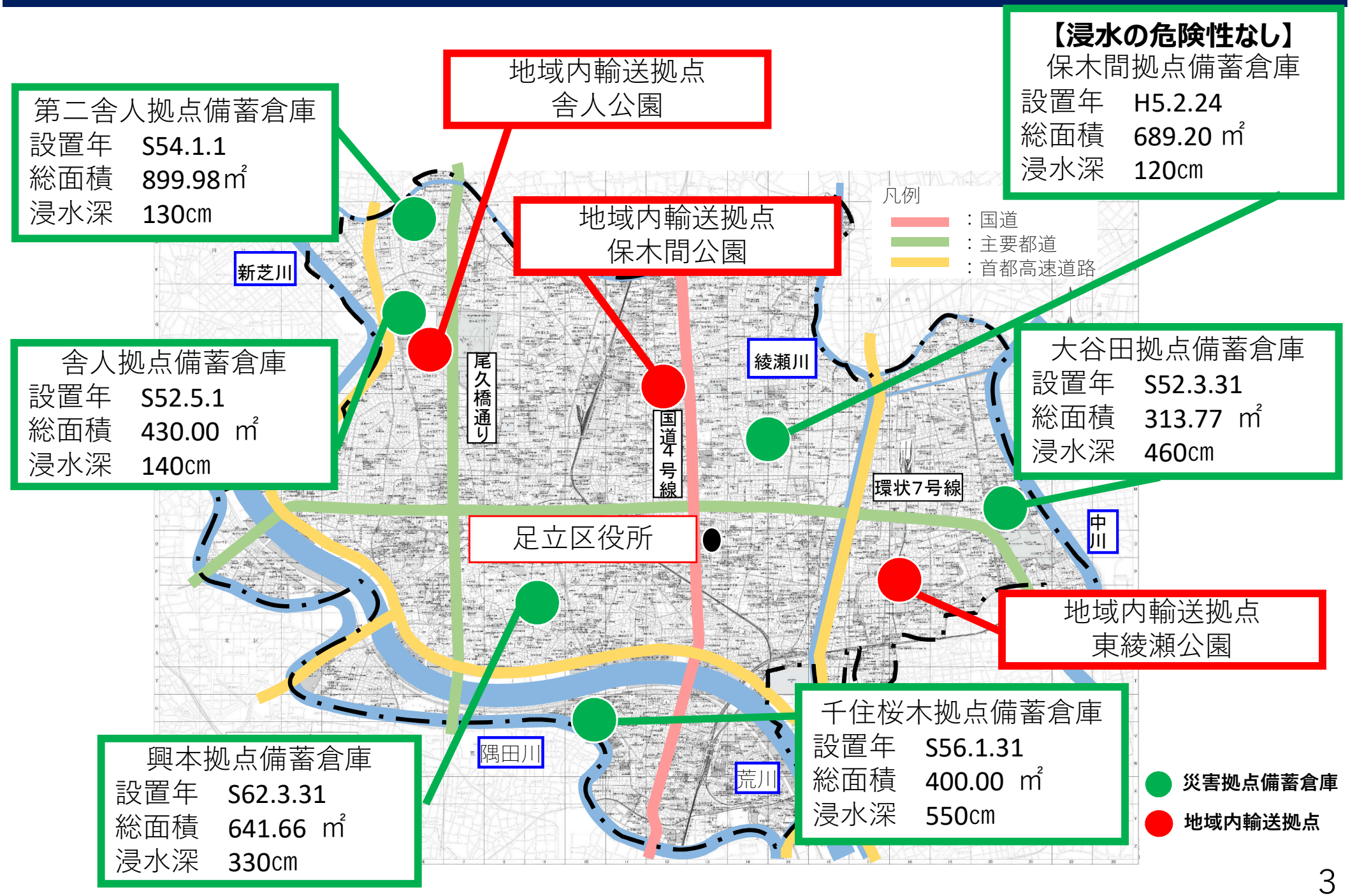
課　題
① 建物の老朽化
② 浸水リスク（保木間除く）

2　地域内輸送拠点

国や都からの支援物資の受入れ、配分等を行う物資集積場所

課　題
① 物資が風雨にさらされる
② 風雨の中で作業を行う

【現在】 災害拠点備蓄倉庫と地域内輸送拠点について



第二舎人拠点備蓄倉庫
設置年　S54.1.1
総面積　899.98㎡
浸水深　130cm

舎人拠点備蓄倉庫
設置年　S52.5.1
総面積　430.00 ㎡
浸水深　140cm

興本拠点備蓄倉庫
設置年　S62.3.31
総面積　641.66 ㎡
浸水深　330cm

【浸水の危険性なし】
保木間拠点備蓄倉庫
設置年　H5.2.24
総面積　689.20 ㎡
浸水深　120cm

大谷田拠点備蓄倉庫
設置年　S52.3.31
総面積　313.77 ㎡
浸水深　460cm

千住桜木拠点備蓄倉庫
設置年　S56.1.31
総面積　400.00 ㎡
浸水深　550cm

なぜ入谷南小跡地に災害拠点施設が必要なのか

現在の課題	入谷南小跡地なら
① 浸水リスクを考慮し、浸水しない場所に災害拠点施設を建設する必要がある	① **区内でも浸水深が浅く、洪水リスクが低い【浸水深が荒川氾濫時でも1.6Mと浅い】**
② 災害時の支援物資が風雨にさらされるため、屋根付きの荷捌き場が必要	② **屋根付きの荷捌き場を建設できる広さの確保が可能**

さらに、

1　災害時に国や都からの物資が届く広域輸送拠点（足立トラックターミナル）に近い

2　物資を運ぶための緊急自動車専用路に近い

3　道路付けが良く、災害時に大型の車両が通行可能

つ　ま　り

区内でベストな場所は、

入谷南小跡地！！

3

旧入谷南小跡地活用（案）について

ADACHI CITY

旧入谷南小跡地活用（案）について

1　地域の皆様からのご要望

地域の皆様からのご要望	旧入谷南小跡地活用（案）
KITクラブ21やアレフ対策協議会など、地域の打合せ用会議室	平時に貸出が可能な会議室を設置
KITクラブ21やアレフ対策協議会用の倉庫	合わせて２００㎡程度の専用スペースを確保
KITクラブ21など、地域の方が運動できるスペース	平時利用可能な屋内（屋外）スペース等の活用

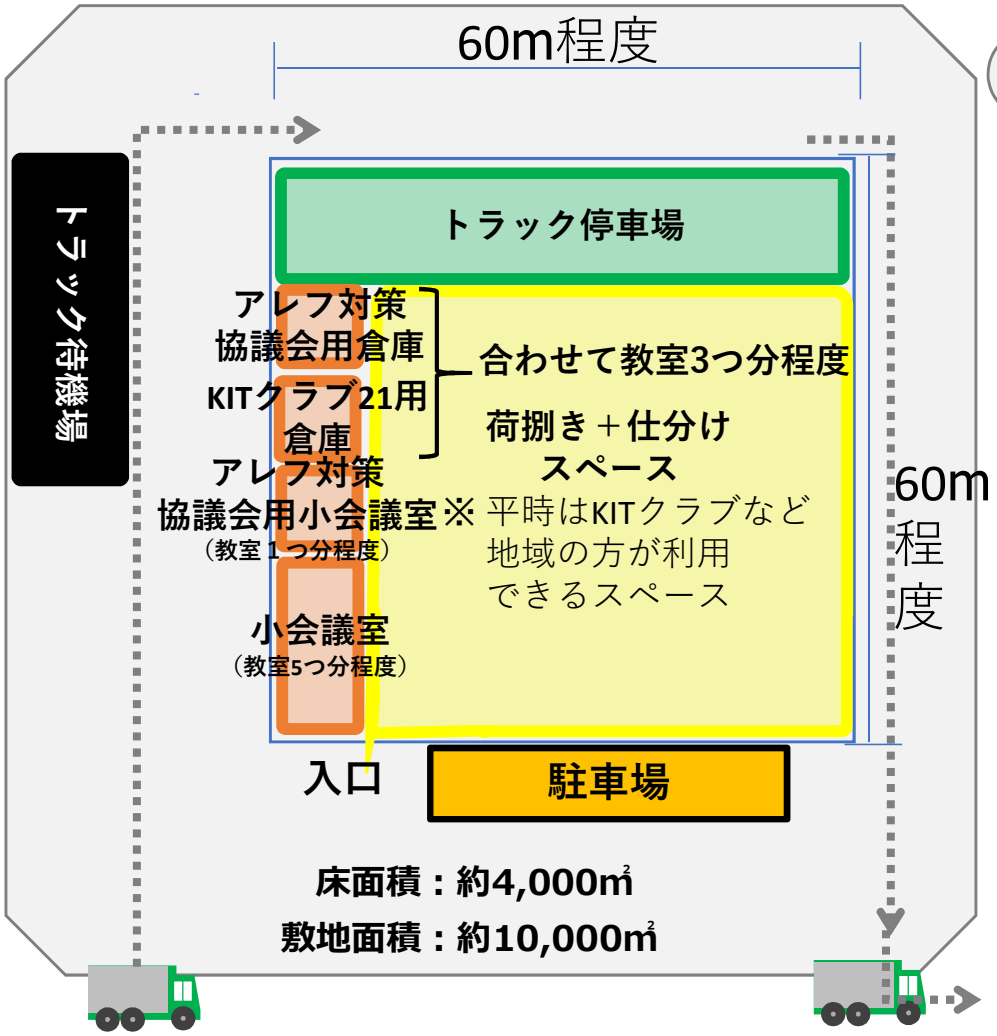
2　地域の皆様からのご要望のうち、実現できないもの

地域の皆様からのご要望	旧入谷南小跡地活用（案）で実現できないこと
施設の一部に避難所を設置	大規模災害時には、都や国からの支援物資等の荷捌場として活用するための場所であることや、入谷中、足立入谷小など近隣の避難所に避難が可能であるため、避難所は設置いたしません

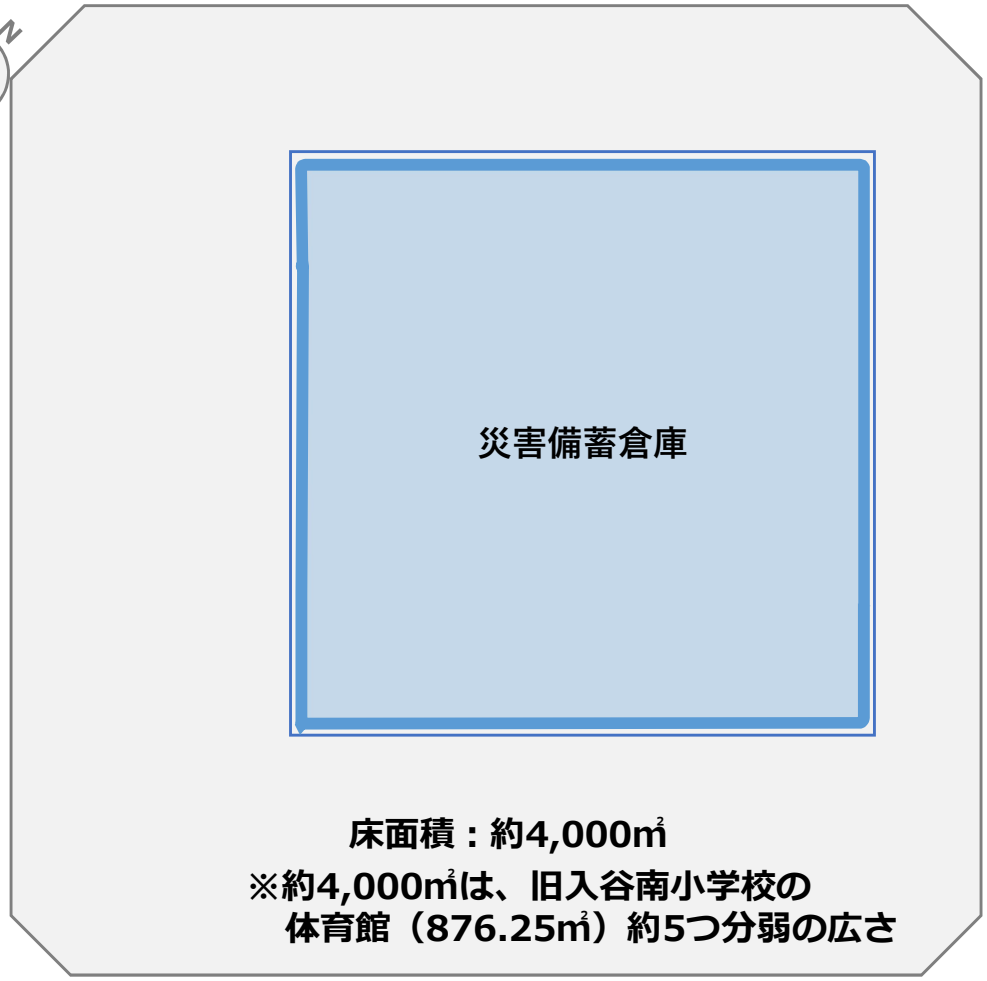
旧入谷南小跡地活用（案）について

«平面イメージ»

１階（地域内輸送拠点）

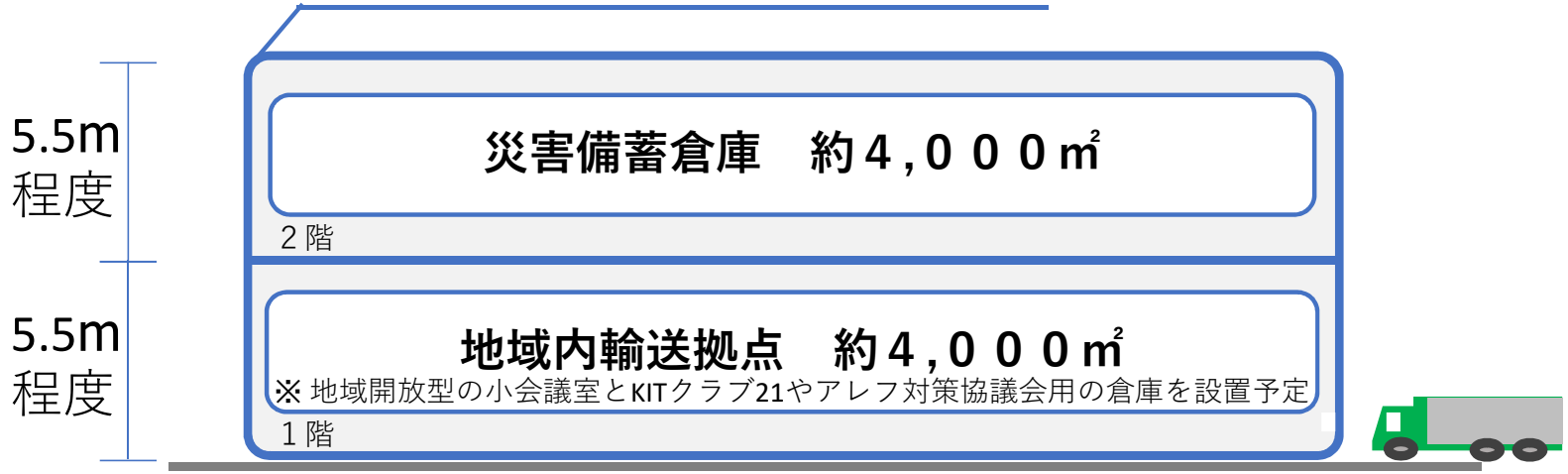


２階（災害備蓄倉庫）



※ この平面はイメージであり、具体的な配置等について、基本計画検討の中で、改めて精査していきます。

旧入谷南小跡地活用（案）について

項目	活用案
運営形態	全フロア区が責任を持ち、管理を委託することを想定
イメージ	**整備：公設** 
目的	・**地域内輸送拠点** 都の広域輸送拠点から供給される物資を受け入れ、区内避難所等へ迅速に物資を送り出すために設置する拠点とし、緊急物資等の受入れ、保管、荷捌き、区内避難所等への輸送を行う。 ・**災害備蓄倉庫** 災害発生２日目と３日目分に相当する食糧、水等（１日目分は各避難所に配備済みのため）を配備する予定。
効果	・1階部分の地域内輸送拠点は、平時の利用方法として、地域住民を中心に利用出来るスペースを検討。 ・全てのフロアを区が管理することで管理形態が簡素化され、効率的な運営が可能。 ・改修工事等が容易に可能。

4 今後のスケジュールについて（予定）

ADACHI CITY

今後のスケジュールについて（予定）

内　　容	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
基本計画の策定	→						
基本設計　実施設計		→	→				
新設工事				→	→		
施設開設						開　設	

※　上記スケジュールは変更となる可能性があります。

説明は以上です
ご清聴ありがとうございました

ADACHI CITY